

順位	氏名（議席）	発言の要旨
16	萩野 基行（12）	<p>1. 学校における防災教育について</p> <p>南海トラフ地震や豪雨など、本市における災害対策は予断を許さない状況である。</p> <p>災害発生時にはまず自助、自分の身を守る行動を取ることが最重要で、その次に共助、周囲の人と助け合うことは防災の原則である。本市の学校での避難訓練や防災教育においても、そのことを念頭に置いて取組を行っていると同っており、大変頼もしく思われる。</p> <p>そのような取組の中、災害が発生した際には、児童生徒も地域防災の一翼を担うこととなり得ると考え、以下伺う。</p> <p>(1) 学校の防災教育の取組について伺う。</p> <p>(2) 知識があってもいざというときに体が動かなければ、逃げることも助けることも難しい。そこで、スポーツ感覚で体を動かして、知識と技術を体で覚えることができる防災体験授業を導入してはどうか。</p>